

東日本大震災災害支援報告書

巡回日	巡回先名	
平成25年9月11日～ 9月12日	岩手県下閉伊郡田野畑村 特定非営利活動法人福祉作業所ハックの家	
担当者名	中里義博	歯科医師 歯科衛生士 歯科サポート兼ハン ドトリートメント施術ボランティア
	職種	(歯科 S&H)
	所属	岩手三陸復興の狼煙作戦

巡回メンバー（メンバーの氏名と職種・所属）

中里義博：歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦

大渡廣信：歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦

清水夏子：歯科衛生士 所沢あおぞら歯科診療所 岩手三陸復興の狼煙作戦

丹羽ひとみ：会社員 岩手三陸復興の狼煙作戦

山崎耀樹：元教員 現地駐在（釜石）支援員兼記録者 岩手三陸復興の狼煙作戦

歯科医師 2 名、歯科衛生士 1 名 支援員兼記録者 1 名 歯科 S&H1 名 計 4 名

協力者

氏名：ハックの家 ① 担当者：竹下 敦子（たけした・あつこ）

② 他スタッフ 4 名

ハックの家

健診、簡単な歯科治療、口腔保健指導・教育を受けた利用者人数

17 人

口腔保健指導・口腔機能の向上について教育を受けた施設勤務者人数

5 人

支援内容

9月11日・12日岩手県田野畑村にある障害者通所施設であるハックの家の歯科支援活動に行きました。昨年に引き続き今回が2回目の訪問となりました。今回の参加者は歯科医師として大渡廣信・中里義博、歯科衛生士が清水夏子、診療補助としてハンドリフレケア施術者の丹羽仁美、現地駐在で連絡等を担当している山崎耀樹の5名でした。当日は昼過ぎに現地に到着後、会場設営などを行ってから、大渡・中里・清水で対象者の問診票の整理と施設担当者との打ち合わせを行いました。

【歯科口腔内健診】

口腔内健診を順番に行い、昨年度との比較をしました。今回から3年間の経過を確認できる健診票を使用することにしました。皆素晴らしい成績で、虫歯がある方はほとんどが通院して治療済みでした。また歯ブラシもかなりうまくなっていて歯肉炎も少なく感心しました。知的障害のある方で昨年なかなか口をあけてくれなかったA君の協力も見事でした。皆から離れて健診を受けていたB君も最後までできた様子でした。

【歯科講話】

一通り健診が終わってから、大渡先生からお口の健康についての話がありました。NHKの試してガッテンのビデオを見せながらの話でした。しっかり噛んで、食べることは肥満の予防につながる、また飲み込む機能を維持向上させるには唾液をたくさん出すためにしっかりと咀嚼する必要があることなど、スライドを使っての講演でした。

【咀嚼度判定テスト】

講演の終了後には咀嚼判定ガム・キシリトーガムを一定時間噛んでもらい、ガムの色変化がどのくらい変わったかでしっかりと咀嚼できているかをそれぞれ判定しました。各個人の結果を写真の撮り、記録として残しました。対象者の中には、歯の数が少ない中高年の方、義歯が必要であるが未使用の方、咀嚼が上手くできない若い方などが数名見られました。義歯の必要な方には受診勧告などを施設職員の方へ口頭でしました。

【質問と指導】

施設利用者さんからの質問に、大渡や中里、歯科衛生士の清水が歯ブラシや模型を使って個別に実施の磨き方などを指導しました。

全般的に昨年に比べて成績は向上傾向にあることは素晴らしいことでした。

協賛

サンスター株式会社：保湿剤（バトラージェルスプレー、うるおい透明ジェル）、歯間ブラシ、歯ブラシ、スポンジブラシ。

グラクソ・スミスクライン株式会社：ポリデント

モリタ株式会社：チェックアップジェル

T&K株式会社：保湿剤他サンプル製品や指導書

埼玉県歯科医師会：口腔ケアに関するパンフレットなど



健診の様子



去年は難しかったが・・・



講演の様子



終了後の集会



ガムの色がピンクに！



咀嚼能率に影響がありそう

